

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

## 令和3年8月のHPきごころ通信 (先月の話題)

### 目次

- (1)  厚鋼板 流通価格1割高 国内 アジア造船回復で品薄に
  - (2)  路線価、6府県とも下落 上昇基調、コロナが冷や水
  - (3)  マナーのツボ 相手と心を通わせるには 「相談」をうまく使う
  - (4)  コロナ禍における法律上の問題 請負契約における留意点
  - (5)  建材類・厚鋼板値上げ 東京製鉄 土木・建築需要増える
  - (6)  電動ボード 悪質運転増加 ルール浸透追い付かず
  - (7)  都心部へ人口集中一段と 3大政令市 関西全体の28%に
  - (8)  再生エネ「36~38%」 原発は20~22%維持
  - (9)  ごみ削減を考える 「もったいない」が捨てられる
  - (10)  所有者不明地の活用促進 法改正検討 再生エネ・防災に
  - (11)  案内用図記号「ピクトグラム」 一目で理解
  - (12)  平均寿命 最高を更新 男性81.64歳、女性87.74歳
-  **住まいのお手入れ - 天井** 症状 - クロスに隙間がある



### (1) 厚鋼板 流通価格1割高

#### 国内 アジア造船回復で品薄に 建機向けも堅調

- \* 船舶や建設機械、建材などに使う厚鋼板（厚板）の国内流通価格が一段高。
- \* 東京地区では前月比1割高。
- \* アジアの造船会社からの引き合いが回復し、厚板の輸出が増勢に。
- \* 国内では建機や産業機械向けの需要が堅調。
- \* 急速な品薄感から、今冬以降の建設現場への建材提供が遅れる懸念も。

#### 建築鋼材、小幅に上昇 H形鋼3%、荷動き復調

- \* 建築用鋼材の取引価格も小幅上昇が続いています。
- \* H形鋼の価格は、前月比3%高。

(2021年7月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2)  **路線価、6府県とも下落 上昇基調、コロナが冷や水**  
**感染収束・万博に期待 投資熱は下がらず**

\*2021年分の路線価は、8年ぶりに近畿6府県すべてで標準宅地の平均値が前年を下回りました。

\*大阪ミナミの下落率は、全国で最も大きく。

\*大阪が0.9%マイナスと8年ぶりの下落。京都も7年ぶりに下落。

\*「阪急うめだ本店」前は38年連続で近畿首位。前年からは8.5%の下落。

\*ホテル、オフィス、高級住宅などの開発投資の勢いは衰えていません。

(2021年7月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3)  **マナーのツボ 相手と心を通わせるには**  
**「相談」をうまく使う**

\*話し合ったうえで事を進めれば、自然に自覚や責任感が芽生えます。

\*相談上手はコミュニケーション上手なのです。

(2021年7月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(4)  **コロナ禍における法律上の問題**

**請負契約における留意点 受注者の過失の有無が判断基準**

Q. 当社の建設工事現場で複数の作業員が新型コロナウイルス感染症に感染し、工事を一定期間中止。工期通りに完工しない場合、当社に責任はありますか？工期を延長してもらえますか？

A. \*受注者は原則として、工事請負契約で約束された工期通りに目的物を完成させなければならない義務があります。

\*民間（七会）連合協定工事請負契約約款では、不可抗力のため受注者が施工できないときに工事を中止することができ、この場合に中止事由が解消され工事が再開されたときには、受注者が発注者に対して必要と認められる工期の延長を請求することができる旨が定められています。

\*「不可抗力のため受注者が施工できないとき」に該当するの（不可抗力該当性）が問題。

\*国土交通省は、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う・・・感染者の発生

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

等については、受発注者の故意又は過失により施工できなくなる場合を除き…『不可抗力』に該当する」旨の見解。

\*受注者が通常考えられる感染防止措置を講じていなかった場合には、受注者が注意を怠ったこと（過失）によって施工できなくなったため、不可抗力には該当しないと考えられます。

\*不可抗力該当性の判断には個別・具体的な事情の検討が必要です。

(2021年7月10日 大阪商工会議所大商ニュース記事より抜粋・引用)

## (5) 建材類・厚鋼板値上げ 東京製鉄

### 土木・建築需要増える H形鋼値上げ 3カ月連続 日本製鉄

\*東京製鉄は8月分の契約価格について、建築用鋼材のH形鋼や異形棒鋼などを前月から1ト3千円引き上げると発表。

\*土木分野や建築分野で需要が増えつつあり、需給が引き締まっています。2カ月ぶりに値上げ。前月から3%の上昇。

\*厚板の値上げは4カ月連続。

(2021年7月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (6) 電動ボード 悪質運転増加 ルール浸透追い付かず

### 大阪府警の警告、今年の3倍に

\*電動キックボードの運転マナーの悪化が深刻に。

\*大阪では無免許運転の疑いなどでの摘発が相次ぎ、東京でも2021年の事故件数が前年の6倍のペースに。

\*法律上は原付バイクにあたり、免許携帯やヘルメットの着用が必須。

\*大阪府警の警告数は2020年の22件から、2021年は1~5月で72件と急増。

※電動キックボード：2017年ごろから急速に世界中に広まりました。最高時速が約30km/h出るものも。価格は1台約10万~30万円程度。

(2021年7月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7)  **都心部へ人口集中一段と**

**3 大政令市 関西全体の 28%に**

**大阪 中心部タワマン建設 京都 南部中心に宅地開発**

- \*2020年の関西6府県の人口は、5年前に比べ17万人減少。
  - \*関西6府県全体の人口は、この10年間で約35万人減少。
  - \*5年前に比べて人口が減少した関西の自治体は、8割強の160に。
  - \*大阪市、京都市、神戸市の三大都市の関西全体に占める人口シェア28%に迫り、人口の二極化が進んでいます。
  - \*大阪市の西・北・中央区の増加率は10%を超えた半面、西成区5.1%減、大正区4.6%減など市内24区のうち9区がマイナス。
- (2021年7月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8)  **ごみ削減を考える 「もったいない」が捨てられる**

- \*廃棄物処理法では、ごみを含む廃棄物を「自ら利用したり他人に売ったりできないため不要になったもの」と説明。
  - ・つまり、不要で価値がないと思われ捨てられたもの。
  - \*世界中でゴミの中身は類似してきています。
  - ・特に共通するのが「もったいないもの」の多さ。
  - \*家庭などから出る一般廃棄物だけで、ゴミ処理事業に要した経費は約2兆910億円。
  - ・国民1人当たり約16,400円。
  - ・これはあくまで、ごみ処理にかかった費用のみです。
- (2021年7月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(9)  **所有者不明地の活用促進 法改正検討**

**再生エネ・防災に 使用期限20年に延長**

- \*政府は、所有者がわからない土地の活用促進策を検討。
- \*公共目的で利用できる範囲を広げ、新たに小規模な再生可能エネルギー発電所や防災施設も対象に。
- \*使用期限も現行の10年から20年間に延長。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- \* 相続されずに放置される土地は増加が続きます。
  - \* 2019年に、自治体や民間事業者が公共目的で使う場合に、都道府県知事が土地使用者を与える仕組みを導入。
  - \* ごみの放置などで近隣に悪影響を及ぼす「管理不全土地」の対策も強化。
  - \* 所有者がわかっても空き地になっているような土地に対しては、地域単位の民間組織が使いたい人とマッチングする「ランドバンク制度」を導入。
  - \* 不明土地を公共事業に活用しようと検討しているケースは全国で50件程度ですが、まだ実現した事例はありません。
  - \* 2021年4月に成立した改正民法などでは、土地などの相続を知ってから3年以内に登記するよう義務付け。
- ☆所有者不明土地 経済損失6兆円規模
- \* 不動産登記簿を調べても所有者がわからない土地や、所有者がわかっても連絡がつかない土地。
  - \* 相続者の所有意識が薄く登記されずに放置されるケースが多くあります。
  - \* 全国の不明土地は、2016年時点で九州を上回る規模の約410万ヘクタール。
  - ・2040年には北海道の面積に迫るといいます。
  - \* 機会損失や税の滞納などで2040年までに累計で約6兆円の経済的な損失。  
(2021年7月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (10) 案内用図記号「ピクトグラム」 一目で理解

- \* 国内外に広く浸透する図記号「ピクトグラム」の発祥は、1964年のオリンピック東京大会。
- ・動機は、アジア初の祭典を迎えるにあたり、海外からの訪問客に言葉抜きでトイレや救護所などをわかりやすくできないものか。
- \* 普及には1970年の大阪国際博覧会（万博）も一役買いました。
- ・多くの人に認知され、広がる契機に。
- (2021年7月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (11) 平均寿命 最高を更新

### 男性 81.64 歳、女性 87.74 歳 昨年、コロナの影響軽微

- \* 2020年の日本人の平均寿命は男性が81.64歳、女性が87.74歳。ともに過去最高を更新。女性は世界1位、男性は世界2位。
- \* 平均寿命は死亡状況が今後変化しないと仮定し、その年の0歳児が平均で何歳まで生きられるかを予測した数値。日本にいる日本人が対象。
- (2021年7月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)